

## 日本臨床環境医学会・環境過敏症分科会活動報告（2020年度）

本年度は“新型コロナ時代に環境過敏症患者の発症予防をめざして”というテーマを設定して、以下のような活動を実施した。

### 【活動内容】

#### 1. オンラインによる勉強会（第1回）

テーマ：With コロナ時代に、環境過敏症患者の発症予防を目指して

開催日時：2020年9月21日14時 - 17時

企画（司会）：北條祥子（東北大学大学院歯学研究科），黒岩義之（帝京大学医学部附属溝口病院脳神経内科），水越厚史（近畿大学医学部環境医学・行動科学教室）

参加者：30名（名簿参照）

#### <第1部 勉強会>

- 1) 吉野博（東北大学名誉教授）：新型コロナ対策としての換気
- 2) 渡井健太郎（国立相模原医療センター）：日本の化学物質過敏症患者の網羅的遺伝子解析研究の結果

#### <第2部 水城まさみ先生（本分科会副代表, 2021年9月6日ご逝去）をしのぶ会>

- 1) 追悼の言葉・黙とう：北條祥子（東北大学大学院歯学研究科）
- 2) 水城まさみ先生の御遺著「化学物質過敏症対策—専門医・スタッフからのアドバイス—」（宮田幹夫監修，水城まさみ・小倉英郎・乳井美和子著）の内容紹介  
発表共著者：小倉英郎（大西病院）  
宮田幹夫（そよ風クリニック）  
乳井美和子（そよ風クリニック）
- 3) 追悼会：参加者全員が水城先生に対する想いでや追悼の言葉を述べ、今年度の最優先課題として御遺志を尊重し、環境過敏症の研究発展に尽くすことを確認した。

#### 2. オンラインによる勉強会（第2回）

開催日時：2020年12月20日（日）13:00 - 15:45

参加者：23名

#### <開会の挨拶> 北條祥子（主催者代表）

- <第1部 研究発表（健康調査・疫学）> 13:00 - 14:20 座長：柳沢幸雄，土器屋美貴子
- 1) 横田俊平（横浜市立大学名誉教授）：小児科医からみた身体症状を訴える登校障害児の実態と今後の課題
  - 2) 水越厚史（近畿大学医学部環境医学・行動科学教室）：QEESI等既存の国際共通環境過敏評価用問診票と現状の環境因子の探索的実態調査に基づく新規環境過敏評価用問診票の開発
  - 3) 中里直美（国際医療福祉大学熱海病院薬剤部）：脳脊髄液減少症の感覚・免疫過敏症に関する薬剤師調査報告～当院問診票と服用薬調査の結果を中心に～
  - 4) 鈴木高弘（東北大学大学院薬学研究科）：世界共通問診票を用いた脳脊髄液減少症患者の環境過敏反応に関する調査
  - 5) 北條祥子（東北大学大学院歯学研究科）：QEESIとEHS問診票を用いた日本人の環境過敏に関する実態調査と今後の課題
  - 6) 黄友莉（熊本大学大学院医学研究科）：EHS問診票とQEESIとを用いた日本のスマホ世代（高校生・大学生）の環境過敏度に関する実態調査
- <第2部 研究発表（政策・指針・管理・情報）> 14:30 - 15:30 座長：寺田良一，浦野真弥
- 1) 黄琳琳（台湾正修科技大学）：大学生の健康保全に配慮した学食の室内環境の構築
  - 2) 柳田徹郎（東京大学大学院工学研究科）：アレルギーや環境過敏症患者にも配慮した「まちづくり」計画をめざして

- 3) 上田厚 (NPO 法人アジアヘルスプロモーションネットワークセンター) : 環境過敏症に関する社会医学的考察—化学物質過敏症患者のエコロジカルな生活スタイルに学ぶ—  
 4) 黒岩義之 (帝京大学医学部附属溝口病院脳神経内科) : 視床下部の生命界における起源と2元的制御パターン (緊急事態型と平常時型)

<第3部 今後の活動についての審議>

15:30 - 15:40

- 1) 室内環境・環境過敏症特集号について      2) 水城まさみ先生の御遺著の普及について  
 3) 今後の環境過敏症分科会活動方針          4) その他

閉会の挨拶

柳沢幸雄 (主催者副代表)

### 3. 幹事連絡会

オンラインによる幹事連絡会を行い (2020年8月31日, 9月19日, 10月11日, 12月18日, 2021年1月13日, 2月16日, 3月20日, 4月12日, 5月7日), 活動内容等について議論した。

### 4. メーリングリストによる情報提供と意見交換

日常的にメーリングリストを通して, 各研究者の研究成果の紹介, 環境過敏症関連情報 (香害, 子どもの行動障害, スマホ依存症, 5Gによる電磁波障害について等), 時事問題 (例: コロナウイルス対策情報など) を実施した。

#### 【分科会組織】 (メンバー 42名 アイウエオ順 \* : 幹事)

代表: 北條祥子 (東北大学大学院歯学研究科)

副代表: 黒岩義之 (帝京大学医学部附属溝口病院脳神経内科)

1) 医学・医療分野: 相澤好治 (北里大学名誉教授), 青木真一 (秋田協立歯科医院), 石川哲 (北里大学名誉教授), 上田厚 (NPO 法人アジアヘルスプロモーションネットワークセンター), 上田昌文 (市民科学研究室), 内山巖雄 (京都大学名誉教授), 大澤稔 (東北大学病院), 奥村二郎 (近畿大学), 小倉英郎 (高幡会大西病院), 角田和彦 (かくたこどもアレルギークリニック), 坂部貢 (東海大学), \*鈴木高弘 (東北大学), 鈴木珠水 (帝京大学), 平久美子 (東京女子医科大学), 高塚俊治 (岡山駅前歯科診療所), 高野裕久 (京都大学), 土器屋美貴子 (大分大学), \*中里直美 (国際医療福祉大学熱海病院薬剤部), 西影京子 (よこはまにしかげ小児科・アレルギー科クリニック), \*乳井美和子 (そよ風クリニック), 松井孝子 (秋田大学), 宮田幹夫 (そよ風クリニック), 山國徹 (東北大学), 吉田貴彦 (旭川医科大学), 渡井健太郎 (国立病院機構相模原医療センター)

2) 生物学・化学・物理学・工学・社会科学分野: 池田耕一 (日本大学), 一條祐介 (東北文化学園大学大学院), 岩崎由美子 (総合地球環境学研究所), 木村-黒田純子 (環境脳神経情報センター), 近藤加代子 (九州大学), 東門田誠一 (尚絅学院大学), 徳村雅弘 (静岡県立大学), 二科妃里 (東北文化学園大学大学院), \*黄琳琳 (台湾正修科技大学), 星野陽子 (足利市立北郷小学校), \*水越厚史 (近畿大学), 宮田英威 (東北大学), 柳沢幸雄 (東京大学名誉教授), 柳田徹郎 (東京大学大学院工学研究科), 吉野博 (東北大学名誉教授),

#### 【会計報告】

1. 収入の部 (合計 50,000円)

日本臨床環境医学会より 50,000円

2. 支出の部 (合計 50,010円)

1) ZOOM 契約料 (1年間): 22,110円

註: 今年度は, 新型コロナ流行のため, 対面会議が一度も開催できなかったため, 2回の全体の勉強会および幹事会は, すべて ZOOM を使ったオンライン会議で実施した。

2) オンラインによる勉強会資料作成作業アルバイト代 (1000円 x 10.0時間) 10,000円

3) オンラインによる勉強会報告書作業アルバイト代 (1000円 x 17.9時間) 17,900円

合計 50,010円